

平成22年10月28日 平成22年度

第4回 北松中央病院評価委員会

資料3

北松中央病院 第3期 中期目標 (概要解説)

Hokusho Central Hospital



佐世保市 保健福祉部
保健福祉政策課

I 住民に提供するサービスなど

1 地域で担うべき医療

合併後、初めて佐世保市が策定する北松中央病院の中期目標では、佐世保市が病院に求める基本的な考え方を整理したうえで、特に今後3年間(H23～H25)における取り組みを記載しています。

基本的な考え方

第3期中期目標

1 地域医療の提供

- 地域の実情に応じた医療の提供
- 在宅への復帰支援
- 介護サービス

診療科目等、内容の詳細は、病院が独自に判断し、体制を確保します。

急性期・回復期リハを実施します。

退院後の在宅介護を行います。

2 救急医療の提供

- 救急医療

1次・2次救急(内科・外科)を担います。

3 4疾病5事業への可及的対応

- 高度・専門医療
- 生活習慣病(予防)への対応
- 感染症医療・災害対策

急性心筋梗塞・糖尿病に対応します。

特定健診等、人工透析を行います。

感染症、災害に備え、発生した場合は、適切に対応します。

2 医療水準の向上

特に、医師不足が全国的に叫ばれる中、病院環境を整備することにより、医師から希望される病院を目指し、また、専門性等の向上により、医療水準そのものの向上を目指します。

第2期中期目標

特に記載なし

第3期中期目標

● 医療スタッフの人材確保

診療環境を整え、医療スタッフが働きやすい病院にします。

● 専門性及び医療技術の向上

スタッフ全員が質の向上に努めます。

● 研究・治験・質の向上

研究・治験を行うと同時に、客観的データから科学的根拠に基づく質の高い医療の提供に努めます。

3 患者サービスの向上

患者サービスの向上については、第2期計画でも触れてありましたが、より一層の向上を図るべく、満足度調査の実施や待ち時間改善などを目標に明記しました。

第2期中期目標

● インフォームド
コンセント

● セカンド
オピニオン

● 安全対策

第3期中期目標

● 待ち時間改善・院内快適性向上

待ち時間の改善、施設環境整備による快適性の向上に努めます。

● インフォームドコンセント

患者中心の医療に努めます。

● 満足度調査・職員接遇

患者満足度調査を行うと同時に、職員の接遇向上に努めます。

● 安全対策

安全対策を徹底します。

4 地域医療機関等との連携

地域の医療機関や、保健・福祉の各サービス実施主体との連携は不可欠です。第3期目標では、より具体的に地域における連携を図るよう要請しています。

第2期中期目標

- クリティカルパス
- 紹介率向上

第3期中期目標

- 地域医療機関との連携

地域の医療機関との連携強化・機能分化を図り、その手段としてクリティカルパスを作成・適用します。

- 地域医療への貢献

地域(住民・医療機関)を対象とした勉強会等を開催するとともに、各サービス主体と連携し、地域における役割を果たします。

5 市の施策推進における役割

公立病院としての大きな役割の一つとしては、市の施策推進に積極的に協力し、その実現に寄与することも含まれます。第2期目標には記載がなかったこの項目を、新たに追加しました。

第2期中期目標

特に記載なし

第3期中期目標

- 市の保健・医療・福祉施策との連携

市の関連施策に積極的に協力します。

II 業務運営における改善・効率化

1 効率的な運営体制

病院経営を効率的に行うため、いくつかのポイントを設け、経営全体がよい方向に向かうような目標を掲げています。

第2期中期目標

- 長所を伸ばす
- 短所を克服

第3期中期目標

- 事務部門の専門性向上
- 医療人材の育成

診療報酬制度に精通するなど、事務職員の専門性を向上させ、确实(有利)な収益や運営体制の整備に努めます。

看護学生等の受け入れや、職場環境の向上により、新たな或いは既存の人材の育成に努めます。

2 収益確保・費用節減

効果的な財務体質の強化のためには、具体的な目標が必要です。第2期目標では、組織再編や人事評価についても言及がありましたが、病院の独立性を尊重しこの記載を避け、より実務的な目標を設定しました。

第2期中期目標

- 病床利用率
- 組織再編
- 人事評価

第3期中期目標

- 収益の確保
- 費用の節減

病床利用率の向上はもちろんのこと、医療資源有効活用、診療報酬の确实(有利)な請求、未集金対策等を行います。

後発医薬品、材料の購入方法見直しなど、費用の抑制に努めます。

III 財務内容の改善に関する事項

公立病院として、地域に密着した医療を安定的に提供し続けるためには、健全な経営基盤(財務体質)の強化が必要です。中期目標期間経過後の財務状況の目標を示します。

第2期中期目標

● 損益計算での
黒字



第3期中期目標

● 経常収支比率100%以上

財務体質の強化を目指し、第2期では、損益全体で「黒字」としていましたが、第3期では、臨時的収入(費用)を勘案しない、通常の経営状態での黒字化を目指します。